

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害症 等の既往	睡眠障害症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか?)	旧資料No		
143	B06024534	12	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23	朝・夕 朝	2007/2/23	16:00	—	—	—	3時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/21 (夜)38.5°Cの発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A院にてタミフルなど処方。(朝、夕)タミフル75mgずつ内服。(夜)~23日朝にかけて、突然裸になり「お願い」と言って踊るなどの行動あり。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(16:00)母親が目を見失った間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。当院へ入院。発熱不明、記憶無。タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず、ステロイドパルス療法施行。ICU入院。処置内容:ソル・メドロール1g/日(~2/25)、マンニトール注20%250mL×3/日、ミラクル注5万単位×3/日、ロセフィン1g×2/日(~2/26)、ワコピタル坐剤200mg/日、カロナール300mg/日翌朝当院へ連絡があった。頭部MRI、CT、髄液検査、胸部・頸部・骨盤X線:異常なし前頭部の3Hz wave with notchesが3~5秒程持続するのが頻発。 2007/2/24 処置内容:フェノバル60mg×2/日(~2/26)。その後も異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかな後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。	異-1-96
144	B06024909	12	年	男性	異常行動	2007/2/7	12:30、19:00	2007/2/8	2:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8°C(朝)、咳、倦怠感)。(12:30)インフルエンザに対し本剤1カプセル服用。(19:00)タミフル1カプセル、マブール、ムコアストリ服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て素足で50m程先の駐車場に向かって走り出す。父親が家に入れたが、そのまま2階に走っていき、追っていくと窓を開けて飛び降りていた。見に行くと、土の上に座っており、応答はつきりせず、寝ぼけたような様子だった。自家用車にて救急外来受診し、当院へ搬送依頼あり。(3:50)当院救急外来到着。意識レベルJCS1-2、ICU入院。外傷は右膝蓋骨折のみで頭蓋内出血などなし。髄液検査:蛋白定量42mg/dL、糖定量66mg/dL、単核球2/3mm ³ 、分葉核球0/3mm ³ 。(10:00)インフルエンザ脳症の可能性も考慮し、ステロイドパルス療法(ソル・メドロール1000mg/日)開始(~2/10)。(20:30)独語、突然笑い出す、泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS0-1 2007/2/10 (9:30)意識清明と確認。 2007/2/11 インフルエンザ軽快。アスペリン20mg×3回/日(~2/14)、ムコダイン500mg×3回/日(~2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外来フォローとなる。 2007/3/8 異常行動回復。(15:26)膝のけがのため松葉杖。行動、運動面で特に以前と変化なし。	異-1-98		
145	B06025101	12	年	男性	異常行動	2007/2/8	12:00頃	2007/2/8	14:11頃	×	No	—	—	—	—	—	No	無	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り、「頭がこわれそう」落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話、最初は117番をかけてしまった。次に110番をかけて警察から連絡がまわり救急車で他院に搬送。点滴により落ち着いて帰宅。 ②夜になると怯えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き出して、錯乱状態になる。	異-1-105		
146	B06025576	12	年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5~3/6	12:00 朝~	2007/3/4	22:00	—	—	30分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	2007/3/3 (17:05)38.5°C発熱あり、当院外来受診。翌日再診とした。カロナール200 2T 1×頓用。 2007/3/4 (11:30)再診。エスプラインRインフルエンザA & B-NIにてインフルエンザBと診断。本剤2cap 2×3T処方。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発現。 約10分程で落ち着き、両親がおさえる。体温:37.5°C。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(~3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (10:30)当科外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動回復。	異-1-120		
147	B06026630	12	年	男性	①転倒 ②異常行動	2007/3/19 2007/3/19	12:00 18:30	2007/3/20 2007/3/20	0:30 21:40	○	Yes	1時間	1回目30分 2回目10分	—	発熱持続	No	Yes	—	No	No	急に起き上がり、部屋を歩き回った後、突然2階にかけ上がった。母が追いかけて掴まえて一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、ベランダへ出、飛び降りた。家の中に連れ戻したが、まだ興奮状態で暴れていた。飛び降りたことは覚えていない。翌日21:40、寝ていたところ、急に立ちあがり、「いかなあかん」とベットから降り、どこかへ行くとした。看護士と母親で押さえて、医師到着時は本人落ち着いており、これらのことは覚えていないと言う。	異-2-8
148	B07001302	12	年	女性	①痙攣 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	19:00	2007/2/23	22:30	—	—	—	約10分	Yes	発熱持続	No	—	No	2007/2/22 (夜)37°C台の発熱あり。 2007/2/23 (朝)38°C。(昼)39.7°Cの熱あり。解熱剤(詳細不明)を内服したが、解熱せず当院受診。咳嗽あり。インフルエンザA型と診断。(19:00)タミフル投与(75mg)。(20:00頃)就寝。(22:30)寝ていて急に起きたが、焦点が合わずウロウロしていて気を失い2階の階段から転落。この時、全身硬直、振戦する上肢けいれん発作(非重篤)が認められた。痙攣が10分ほど持続。10分後に他院受診。(23:00)30分後に意識回復し、頭部CTを行ったが、異常はみられず帰宅した。けいれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふらつき、言動がおかしくなる症状は回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いていたが、意識は正常であった。以後は受診なし。	異-2-59		
149	B07001361	12	年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	2007/3/17	服用2回目	—	—	—	3分	—	—	—	—	不明	服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間)。家族が押さえてつけて静止した。	異-3-4		
150	B07001523	12	年	男性	意識変容状態	2006/2/2	16:30	2007/2/2	17:30	—	—	—	17時間	No	発熱持続	No	No	—	No	No	2月2日(17:30)両手を拳上し、訳のわからない事を言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後、紙製のふたを握り締めていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。	異-3-5
151	B07002664	12	年	男性	①うつ病 ②錯乱状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	昼前 18:00	2007/2/20	19:00	○	Yes	1時間	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間眠る。(19:00)起きたときに錯乱状態になり、母が押さえる。症状約30分続き回復。 2月21日(朝)37.3°C。起床後すぐに「手洗い」を始める。その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に60回以上「手洗い」し、回りのものに触れようとしなくなる。 2月27日登校する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅で見守らなければならない状態となる。 4月16日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。	異-3-13